



会場脇の堂島大橋 (堂島川) から臨む大阪市街

接骨医学会学術大会 大阪で開催

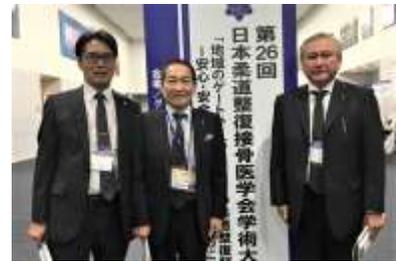
11月3日(金・祝)・4日(土)、大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)の10階と12階の6会場にて、第26回日本柔道整復接骨医学会学術大会が開催された。全国からのべ1,500名超が会場を訪れ、愛知県からは本会会員17名のほか非会員21名の合わせて38名が参加した。今回の大会テーマは「地域のゲートキーパーとしての柔道整復師—安心・安全な柔道整復の提供のために—」。特別講演やセミナー、8分科会による各フォーラム、178題の一般口頭発表と82題のポスター発表が行われた。

本会からは三谷 誉会員(一宮)が、社会医療分科会フォーラムで「地域包括ケアシステムで何がかかわるか?~開業柔道整復師による具体的な取り組み~」と題して発表した。

基礎医学研究分科会フォーラムでは、安井 豊会員(中村)のご子息の安井正佐也氏(愛知医科大学解剖学講座)が「骨折の痛みを科学する~限局性圧痛はなぜ生じるのか~」と題して、また中村讓二会員(大曾根)のご子息の中村宜行氏(米田医院)が「骨折の圧痛閾値と治癒過程の相関性について~限局性圧痛の変化から治癒過程を予測する~」と題して発表を行なった。

限局性圧痛の変化とレントゲン画像およびエコー画像の骨硬化性変化を比較解析し、限局性圧痛の経時的変化から骨折の治癒過程が予測できる可能性が示唆され、施術方法の選択や治癒の判定をおもに圧痛の変化で判断するわれわれにとって、大変意義深い発表であった。

なお来年は、11月17日(土)と18日(日)の両日、ウインクあいちで開催される。地元開催であるので、ぜひ足を運んでいただきたい。



長谷川評議員・齋藤理事・藤川評議員



ヤー!!!と拳を元気よく 半田市防災訓練に初参加

われわれのブースには4班に分かれた市民がタイムリーにそれぞれ訪れた。われわれは災害時の簡易三角巾の作り方、身近な物での固定方法と、エコノミークラス症候群の予防体操を各班合計150名あまりの市民の前でレクチャーし、実践指導した。

脚の体操はもちろんであるが、手を挙げること、声を出すことも大事なことで、「ヤー!!!」とわれわれのかけ声とともにみなさんも拳を挙げ、笑顔でそして真剣に取り組んでくれ、我々も楽しくレクチャーできた。



半田市とは9月に防災協定を結んだばかり。初参加でとても緊張を覚えたが、ノリのよい市民に逆に助けられた感があった。

(支部広報 室谷 勉)

上段 左から
石川 真・室谷 勉・村田衛民
下段 左から
松田吉弘・小林弘治・竹内 康

11月19日(日)午前9時から半田市花園小学校にて、半田市成岩第三区「自主防災会訓練2017」が開催され、小林事業部長をはじめ、半田支部会員5名が参加した。

Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
竹内駿幸	H2.4.1	熱田	東海医療	—	映画鑑賞



富田元副会長、旭日単光章受章!

本会の推薦により、平成29年秋の叙勲において富田重忠元副会長(72歳)が旭日単光章を受章した。

11月7日(火)午前11時より、愛知県庁2階講堂において受章者39名に対して叙勲・褒章伝達式が執り行われた。



富田元副会長は、米田病院での研修後、昭和44年に清洲町にて開業。昭和58年に本会理事に就任し、平成3年より副会長として会務を遂行。平成12年、浅井正孝会長の急逝に伴い、その残任期間会長代行を務めるなど、組織の維持・発展に尽力。20年間にわたって本会の要職にあり、会員の育成指導や学術・保険制度の充実などに貢献した。

また平成11年から4年間、日本柔道整復接骨医学会会長として柔道整復学の振興に寄与した。

11月8日(水)には皇居において天皇陛下への拝謁が行なわれ、富田元副会長も奥様とともにその荣誉に浴した。



森川会長、保健医療功労者として愛知県表彰!

森川伸治会長が、第69回愛知県表彰条例による表彰(保健医療功労者)を受けた。

森川会長は、平成9年に理事に就任。広報・経理・保険部副部長を経て、平成19年に副会長に就き、平成26年より会長を務める。組織の健全運営や会員の指導、県民に対する柔道整復師の認知度向上や普及・啓発活動等に心血を注ぎ、会員の信任も極めて厚く、その指導力が本会の強い組織力の源となっている。また今期より日本柔道整復師会保険部長にも就任し、厳しい状況のなか、八面六臂の活躍で業界を牽引する。

多忙を極める毎日、健康維持を祈りつつさらなるご活躍を期待する。



名東区三師会主導 防災訓練を見学 (事業部長 小林弘治)

11月18日(土)午後から、上社中学校格技場で名東区医師会など三師会と保健所主導で応急救護所が立ち上げられ、消防署や薬剤師会・歯科医師会などの医療関係者ら約100名に対して訓練が行われた。

9月の名東区防災訓練で区医師会長からじかに今回の参加を勧められたため、私が初めて来賓として見学参加した。参加者がトリアージ訓練等に真剣に取り組んでいるのが印象的だった。



介護福祉・健康づくり学会に参加

(介護部長 長瀬理次)

11月11日(土)・12日(日)、第5回日本介護福祉・健康づくり学会が朝日大学にて開催され、愛知県柔道整復師会代表として参加した。

福永哲夫・鹿屋体育大学前学長(元東京大学教授)は講演で、上肢の筋肉量は70歳まで大きな変化はないが、大腿四頭筋の筋肉量は1800ccから1000ccまで落ち込むことを紹介。シンポジウム・発表では医師や名古屋大学教授や日本福祉大学教授が登壇し、ワークショップではアメリカ・ウィチタ州立大学マイケル・ロジャーズ教授がエラスティックバンドエクササイズを実践。

本学会は介護分野で多くの情報が発信された。介護部長としてこれらを本会の介護予防事業に反映させていければと思う。

